

様式第4号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件概要書

【案件名：第2期つくば市戦略プラン（案）】

つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

つくば市では、社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、つくば市未来構想の改定を行うこととしました。

それに伴い、未来構想で掲げる2030年の未来像の実現に向けた今後5年間の市の戦略・取組を「第2期つくば市戦略プラン」にて定めます。

また、まち・ひと・しごと創生における戦略を定めた「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、戦略プランと統合し、市の主要な戦略の統一を図ります。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

総合計画実施計画として、各市町村で策定されています。

○ 未来構想における根拠又は位置付け

未来構想で掲げる未来像の実現に向けた今後5年間の市の戦略・取組みを示したものです。

○ 関係法令、条例等

まち・ひと・しごと創生法

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果（算出できるものはコストを含む。）

予算や職員等の経営資源に限られる中で、市の魅力を高め、持続可能なまちづくりを進め、戦略的・計画的に施策を展開し、市政の中でも特に重点的に取り組む施策に経営資源を配分し、組織横断的な取組を行うとともに、計画的に進行管理を行うことにより、効果的・効率的に2030年の未来像の実現に向け取り組みをすすめることができます。

第2期つくば市 戦略プラン案

(概要版)

令和元年（2019年）12月
つくば市

1 未来構想で定めるまちづくりの理念等と戦略プラン

未来構想策定の趣旨

つくば市では、社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、2015年度に策定した「つくば市未来構想(以下、未来構想)」を2019年度に改定しました。

改定に当たっては、つくば市の歴史やデータから振り返る過去、社会情勢や地域特性の分析や市民の声から見えてくる現在、こうした過去と現在を一連の流れとして捉えるとともに、つくば市が目指すべき未来として「まちづくりの理念」と「目指すまちの姿」、そして2030年の未来像を掲げました。

まちづくりの理念と目指すまちの姿

21世紀半ばまでを見据えたまちづくりの理念

つながりを力に未来をつくる

顔と顔が見える

挑戦を応援する

未来をつくる

「目指すまちの姿」

I 魅力をみんなで創るまち

市民が中心となり、多様なコミュニティを超えて顔と顔が見え、人と人がつながり、つくばならではの魅力を高め、世界に示すまち。

II 誰もが自分らしく生きるまち

誰一人取り残されず、一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、自然豊かで幸せがあふれるまち。

III 未来をつくる人が育つまち

自分たちのまちと世界の未来について考え、よりよい未来を次の世代に引き継いでいけるよう、自ら行動する人が育つまち。

IV 市民のために科学技術をいかすまち

市民の日々の生活や地球環境をよりよくするため、科学技術の成果を最大限活用し、課題の解決に貢献するとともに社会にイノベーションを生み出すまち。

つくば市戦略プラン

- ・ 2030年の未来像の実現に向け、計画的に取組を進める。
- ・ 次期「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定する。
- ・ 計画期間：令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)〈5年間〉

2 戦略プランの基本的な考え方

趣旨

予算や職員等の経営資源に限られる中、市の魅力を高め、持続可能なまちづくりを進めていくにあたっては、戦略的・計画的に施策を展開する必要があります。

そのため、市政の中でも特に重点的に取り組む施策に経営資源を配分し、組織横断的な取組を行うとともに、計画的に進行管理を行う「戦略プラン」を策定し、効果的・効率的に2030年の未来像の実現に向け取り組んでいきます。

また、戦略プランは、変化する社会情勢への対応と、進捗状況等の十分な検証を行いながら、必要に応じて見直しを行います。

施策の重点化

2030年の未来像の実現に向け、特に重点的かつ先導的に取り組む施策を選択します。

経営資源の重点配分

市民のニーズに的確にこたえていくため、職員の適正配置と予算の重点配分を行います。

組織横断的な推進体制

計画的な進行管理を行い、部門を超えて課題の解決に向け取り組みます。

推進体制

庁内体制

施策ごとに庁内横断的な推進体制を構築し、一層の連携強化を図ります。

地域・市民の力や民間活力等の活用による推進

行政だけでは解決できない課題に対し、地域や市民の力、民間活力等の活用によって答えを導き出し、つくばの可能性を高めていきます。

取組の検証

PDCAサイクルマネジメントによる計画的な進行管理により、計画実行後の結果を十分に検証し、市民が求める施策の展開につなげていきます。

構成

戦略プランは、未来構想で掲げた「まちづくりの理念」と「目指すまちの姿」のもと、施策展開の方針を示した17の基本施策を定め、指標を設定します。

続いて、基本施策の取組を具体化した個別施策を定め、指標を設定するとともに、個別施策の達成に寄与する具体的な計画として主要プロジェクトを設定します。

また、戦略プランを着実に達成するため、事業実施計画を毎年作成・見直しして計画的に進行管理を行うとともに、予算編成に反映します。

計画期間

戦略プランの計画期間は、令和2年(2020年)度から令和6年(2024年)度の5年間とし、未来構想に掲げられた未来像の実現に向け、取組を進めていきます。

また事業実施計画は3年を計画期間とし、社会情勢に迅速に対応するため、毎年度内容を見直します。

つくばが「つながる」ための視点

市民のニーズが多様化・複雑化するなかで、行政に求められる役割や業務が多角化し、施策や組織横断的な取組がますます期待されています。そうした中、「つながりを力に未来をつくる」ために、各種施策等を策定する上で共通する視点や考え方の整理を行いました。各種施策等に共通する横串として施策を束ねる役割を担うものとしします。

①
地域や
コミュニティが
つながる

既存の公共施設だけではなく、官民の境目を問わず、高齢者サロンやみんなの食堂など、気軽に多くの方が交流できるたまり場のような拠点を増やしていくことを目指します。

②
社会の
資源が
つながる

行政や企業が持つ既存の施設や空間、時間等の資源をいかし、新たなものを単独で建てる・購入するだけではなく、必要なものを市・市民全体でシェアすることを目指します。

③
市内外の
応援する気持ち
が
つながる

市内外のつくばを応援する人たちの気持ちが市民参加やふるさと納税等の形を通じて事業につながる仕組みづくりを目指します。

④
中心地区と
周辺地区が
好循環で
つながる

つくば市全体の時速可能性のためには、双方向で引きつけあえる関係が理想です。中心地区・周辺地区をつなぐ双方向のヒト・モノ・コト・カネの流れを生み出し、好循環で地域がつながることを目指します。

⑤
持続可能な
選択に
つながる

持続可能都市をつくるのは、市民一人ひとりの選択の積み重ねであることを認識し、日々の選択が持続可能性を認識したものとなることを促す施策を目指します。

戦略プランで定める基本施策

理念	目指す まちの姿	No.	基本施策
つな が り を 力 に 未 来 を つ く る	I 魅 力 を み ん な で 創 る ま ち	I-1	市民と共に創るまちづくりを推進する
		I-2	資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
		I-3	つくばならではの街並みや体験を創出する
		I-4	シティプロモーションを推進する
	II 誰 も が 自 分 ら し く 生 き る ま ち	II-1	地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる
		II-2	人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちをつくる
		II-3	地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする
		II-4	公共施設やインフラのマネジメントを推進する
		II-5	多様な移動手段があるまちをつくる
		II-6	身近な自然を守り、楽しみ、持続させる
	III 未 来 を つ く る ま ち	III-1	こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
		III-2	個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
		III-3	多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる
	IV 市 民 の た か め す ま ち	IV-1	知識集約によってイノベーションを創出する
		IV-2	地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる
		IV-3	市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる
IV-4		地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる	

目指す
まちの姿

I 魅力をみんなで創るまち

市民が中心となり、多様なコミュニティを超えて顔と顔が見え、人と人がつながり、つくばならではの魅力を高め、世界に示すまち。

■基本施策

I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する

■基本施策の指標

市政に市民が参加しやすい環境が整っていると思う人の割合

29.4%
(2019年度)

▶ **40.0%**
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 地域活動と市民チャレンジへの支援

個別施策-2 区会加入及び新規区会設立促進と活動支援

個別施策-3 市政への市民参加の推進

個別施策-4 SDGs普及による市民活動の促進

■主要プロジェクト(例)

- 市民チャレンジへの支援及び相談先の明確化
 - 区会加入及び新規区会設立促進
 - 審議会等への公募市民委員の参加推進
 - 社会課題解決ワークショップ
- など

■基本施策

I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる

■基本施策の指標

つくば市の魅力を市外の友人に、紹介したい(自慢したい)と思う人の割合

57.0%
(2019年度)

▶ **60.0%**
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 豊かな農資源を輝かせることによる魅力の創出

個別施策-2 豊かな資源をいかした観光の振興

個別施策-3 文化芸術の推進及び文化財の保存と活用

個別施策-4 スポーツでつながるまちの推進

個別施策-5 空き家・空き店舗等の有効活用の推進

■主要プロジェクト(例)

- 地産地消の促進
 - 観光イベントの開催
 - 文化財の保存と活用の充実
 - スポーツ施設等の改修及び公共施設として不足しているスポーツ施設等の整備検討
 - 「つくば市空家バンク制度」の推進
- など

■基本施策

I-3 つくばならではの街並みや体験を創出する

■基本施策の指標

これからもつくば市に住み続けたいと思う人の割合

53.5% (2019年度) ▶ 56.2% (2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 魅力ある研究学園都市地域の推進

個別施策-2 地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興

■主要プロジェクト(例)

- 科学技術を取り入れたまちづくりの推進
 - 地域主体のまちづくり体制の構築推進
 - パブリックスペースを活用したまちの魅力向上
 - 地域づくり拠点の形成
- など

■基本施策

I-4 シティプロモーションを推進する

■基本施策の指標

つくば市に「愛着」を感じる人の割合

35.4% (2019年度) ▶ 38.9% (2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 市民目線の効果的な広報の推進

個別施策-2 市内外へ向けたPRの推進

■主要プロジェクト(例)

- 市民目線の効果的な広報の推進
 - 市のブランドイメージの統一
 - 関係人口の創出
 - ふるさと納税のPR強化
- など

目指す
まちの姿

Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち

誰一人取り残されず、一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、自然豊かで幸せがあふれるまち。

■基本施策

Ⅱ-1 地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる

■基本施策の指標

高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると
思う人の割合 31.4%
(2019年度) ▶ 34.4%
(2024年度)

住みやすい理由として充実した医療機関・福祉サービスを
挙げる人の割合 32.1%
(2019年度) ▶ 35.1%
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

- 個別施策-1 ▶ 世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充
- 個別施策-2 ▶ 民生委員等のサポート強化と次世代の育成
- 個別施策-3 ▶ 認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実
- 個別施策-4 ▶ 地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実
- 個別施策-5 ▶ 障害者の自立に向けた就労等の支援

■主要プロジェクト(例)

- ・ 世代を超えた交流の拠点整備(サロン等)
 - ・ 民生委員とふれあい相談員との連携推進
 - ・ 地域包括支援センターの市内全域への配置
- など

■基本施策

Ⅱ-2 人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちをつくる

■基本施策の指標

健康寿命の延伸 80.9歳
(2018年度) ▶ 81.4歳
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

- 個別施策-1 ▶ 一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援
- 個別施策-2 ▶ 誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備

■主要プロジェクト(例)

- ・ 健康診査、がん検診の受診率の向上
 - ・ 生涯にわたる学びの場の推進
 - ・ 健康づくりのための運動・スポーツの推進
 - ・ ボランティア事業の推進
- など

■基本施策

Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする

■基本施策の指標

地域の住民が協力して行う防犯活動へ参加している人の割合
 15.8% (2019年度) ▶ **17.4%** (2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

- 個別施策-1 ▶ 市の備蓄の推進や公共施設の機能維持
- 個別施策-2 ▶ 自宅の安全・備蓄対策や地域での支えあいの推進
- 個別施策-3 ▶ 防犯意識を高め、安全・安心を実感できる生活環境づくり

■主要プロジェクト(例)

- ・ 公共施設の機能維持の推進
 - ・ 防災に対する意識の啓発
 - ・ 地区防災計画策定の推進
 - ・ 地域での見守り体制の構築
- など

■基本施策

Ⅱ-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する

■基本施策の指標

公共施設・インフラについての「個別施設計画(長寿命化計画)」の策定数
 5計画 (2018年度) ▶ **10計画** (2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

- 個別施策-1 ▶ 公共施設・インフラの効果的な維持管理の推進
- 個別施策-2 ▶ 保有資産の有効活用の推進
- 個別施策-3 ▶ 保有資産の適正化
- 個別施策-4 ▶ 公共施設やインフラ管理への先端技術等の導入

■主要プロジェクト(例)

- ・ 新技術等の現場実装の促進
 - ・ 民間活力導入の推進
 - ・ 施設の複合化・集約化指針の作成
 - ・ 市民ニーズに合った利用促進策の検討
- など

■基本施策

II-5 多様な移動手段があるまちをつくる

■基本施策の指標

日常利用する交通手段が自家用車である人の割合

85.8%
(2019年度)83.5%
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築

個別施策-2 自動車から自転車への転換の推進

■主要プロジェクト(例)

- 支線型バス実証実験事業
- コミュニティバス「つくバス」運行事業
- デマンド型交通「つくタク」運行事業
- 自転車が快適に利用できる環境整備
- サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

など

■基本施策

II-6 身近な自然を守り、楽しみ、持続させる

■基本施策の指標

住みやすいと感じる理由に「豊かな自然」を挙げる人の割合

59.3%
(2019年度)60.0%
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 身近な自然を楽しむ環境づくり

個別施策-2 自発的な保全活動の推進

■主要プロジェクト(例)

- つくばスタイル科による環境教育
- 次世代の担い手育成事業
- 環境保全活動への支援事業
- 耕作放棄地の有効活用

など

目指す
まちの姿

Ⅲ 未来をつくる人が育つまち

自分たちのまちと世界の未来について考え、よりよい未来を次の世代に引き継いでいけるよう、自ら行動する人が育つまち。

■基本施策

Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる

■基本施策の指標

安心してこどもを生き育てられる環境が整っていると
感じる人の割合

59.1%
(2019年度)

70.0%
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 こどもを安心して生き育てられる環境整備

個別施策-2 ニーズに対応した子育て環境の整備

個別施策-3 こどもも親も楽しめる遊べる場の整備

■主要プロジェクト(例)

- こども・子育て支援の充実
- 民間保育所等の設置支援
- 保育士の処遇改善
- 地域交流を支援する遊びの場の提供
- など

■基本施策

Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む

■基本施策の指標

将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合

77.5%
(2018年度)

80.0%
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出

個別施策-2 魅力ある放課後の創出

個別施策-3 就学前におけるこどもの学びの充実

■主要プロジェクト(例)

- 主体的・協働的な学びの推進
- こどもの学習支援及び居場所支援の実施
- 安全で快適な教育環境の整備
- 保幼小連携の推進
- など

■基本施策

Ⅲ-3 多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる

■基本施策の指標

「自分らしく自分のやりたいことができる社会である」と
思う人の割合

55.7%
(2019年度)

▶ **64.1%**
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取組むこと】

個別施策-1 ▶ 多様性をいかした社会の推進

■主要プロジェクト

- 市役所窓口や消防業務における多言語対応可能な相談体制の構築
 - 国際理解講座や文化交流事業の開催
 - 日本語支援体制の充実
- など

目指す
まちの姿

IV 市民のために科学技術をいかすまち

市民の日々の生活や地球環境をよりよくするため、科学技術の成果を最大限活用し、課題の解決に貢献するとともに社会にイノベーションを生み出すまち。

■基本施策

IV-1 知識集約によって社会イノベーションを創出する

■基本施策の指標

技術系の新規創業数

40件
(2014～18年度) ▶ **50件**
(2020～24年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 ▶ 新たな共創の仕組みづくり

個別施策-2 ▶ 社会実装の推進によるイノベーション創出

■主要プロジェクト(例)

- ・ 未来共創プロジェクトの実施
 - ・ SDGsパートナーズ(団体会員)の推進
 - ・ 近未来技術等の社会実装の推進
 - ・ アクセラレーションプログラムの実施
- など

■基本施策

IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる

■基本施策の指標

つくば市ふるさとハローワークでの若者の正規雇用者数

現状値なし ▶ **675人**
(2020～24年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 ▶ 地域産業人材の確保・定着の推進

個別施策-2 ▶ 地元企業等の新たなチャレンジの支援

■主要プロジェクト(例)

- ・ 若者の地域定着化の促進
 - ・ 技術開発の支援
 - ・ 産業振興センターの利用促進
 - ・ 産業創出の支援
- など

■基本施策

IV-3 市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる

■基本施策の指標

「先進的な製品・サービスが暮らしの中にかかれている」と思う人の割合

11.8%
(2019年度)

▶ **50.0%**
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 ▶ 人とテクノロジーが共生するスマートシティの推進

個別施策-2 ▶ データで市民を豊かにするまちの推進

個別施策-3 ▶ 書かない・待たない・行かないデジタル窓口の推進

■主要プロジェクト(例)

- ・ 地域の課題解決のためのスマートシティの推進
- ・ デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進
- ・ 行政手続きの電子化に向けた取組
- など

■基本施策

IV-4 地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる

■基本施策の指標

一人一日あたりの生活系ごみの排出量

695g/人・日
(2018年度)

▶ **668g/人・日**
(2024年度)

■個別施策【今後5年間で取り組むこと】

個別施策-1 ▶ 食品ロス削減に向けた意識啓発

個別施策-2 ▶ 再資源化、再利用化の推進

個別施策-3 ▶ 環境美化活動の推進

個別施策-4 ▶ 低炭素化の推進

■主要プロジェクト(例)

- ・ 食品ロス削減に向けた意識啓発
- ・ 脱プラスチック社会へ向けた意識啓発
- ・ きれいなまちづくり推進事業の実施
- ・ 低炭素なまちづくり(建物・街区)の推進
- など